

Press Release

令和5年1月23日

報道関係者各位

本件は、九州運動記者クラブ、福岡市政記者クラブ、熊本市政記者クラブ、
そのほか関係媒体に配布します

世界水泳選手権 2023 福岡大会組織委員会

世界水泳選手権 2023 福岡大会組織委員会会議の開催について

世界水泳選手権 2023 福岡大会組織委員会（会長：（公財）日本水泳連盟会長 鈴木 大地、
副会長：福岡市長 高島 宗一郎ほか）は、本大会の名称変更等について別紙資料の内容で会
議を開催しましたので、お知らせいたします。

別紙資料・・・・・・・・第9回組織委員会会議資料

<お問い合わせ先> 世界水泳選手権 2023 福岡大会組織委員会事務局
(福岡市市民局世界水泳担当) 担当：平川・山崎
Tel：092-711-4937 (内線 1834) Fax：092-733-5742

WORLD AQUATICS OFFICIAL PARTNERS

第 19 回 FINA 世界水泳選手権 2022 福岡大会 第 9 回組織委員会会議

日 時：2023 年 1 月 23 日(月) 14 時 00 分～

形 式：オンライン会議

次 第

1 開会

2 第 19 回 FINA 世界水泳選手権 2022 福岡大会組織委員会 会長挨拶

公益財団法人日本水泳連盟会長 鈴木 大地

3 開催都市市長挨拶（代理）

福岡市副市長 中村 英一

4 議事

- | | | |
|---------|---------------------------|----------------|
| (1) 議 案 | 第 1 号 大会名称等の変更について | 資料 1 . . . P 2 |
| | 第 2 号 組織委員会規約の改定について | 資料 2 . . . P 3 |
| (2) 報 告 | ① 大会予算等について | 資料 3 . . . P 4 |
| | ② 主なスケジュールについて | 資料 4 . . . P 6 |
| | ③ 2021 年度事業報告及び収支決算（書面決議） | 資料 5 . . . P 7 |

5 その他

6 閉会

<配布資料> ・ 組織委員会委員名簿

・ 資料 1 ～ 5

第19回FINA世界水泳選手権2022福岡大会組織委員会 委員名簿

(順不同・敬称略)

NO	役職	所属・役職	氏名	
			現在	新
1	会長	公益財団法人日本水泳連盟会長	鈴木 大地	同左
2	副会長 (開催都市市長)	福岡市長	高島 宗一郎	〃
3	副会長	福岡県知事	服部 誠太郎	〃
4	副会長	一般社団法人九州経済連合会会長	倉富 純男	〃
5	副会長	一般社団法人福岡県水泳連盟会長	山住 哲生	〃
6	事務総長	福岡市副市長	中村 英一	〃
7	事務総長代理	公益財団法人日本水泳連盟副会長 兼専務理事	坂元 要	〃
8	事務総長代理	福岡市市民局長	下川 祥二	〃
9	事務総長代理	第19回FINA世界水泳選手権2022福岡 大会組織委員会委員	松尾 喜和	安部 嘉弘
10	委員	公益財団法人日本スポーツ協会副会長	泉 正文	同左
11	委員	公益財団法人日本オリンピック委員会 専務理事	星野 一朗	〃
12	委員	公益財団法人日本水泳連盟副会長	上野 広治	〃
13	委員	公益財団法人日本水泳連盟副会長	村山 よしみ	〃
14	委員	公益財団法人日本水泳連盟常務理事	金子 日出澄	〃
15	委員	公益財団法人日本水泳連盟理事	萩原 智子	〃
16	委員	公益財団法人日本水泳連盟	小谷 実可子	〃
17	委員	公益財団法人日本水泳連盟	岩崎 恭子	〃
18	委員	公益財団法人日本水泳連盟顧問	安部 喜方	〃
19	委員	一般社団法人日本マスターズ水泳協会 会長	高橋 繁浩	〃
20	委員	公益財団法人福岡県スポーツ協会 理事長	住吉 徳彦	〃

NO	役職	所属・役職	氏名	
			現在	新
21	委員	公益財団法人福岡市スポーツ協会会長	西村 松次	同左
22	委員	福岡市女性スポーツ活動団体連絡協議会 会長	安武 壽子	村上 美知
23	委員	福岡商工会議所会頭	谷川 浩道	同左
24	委員	福岡経済同友会代表幹事	青柳 俊彦	〃
25	委員	一般社団法人福岡青年会議所理事長	西嶋 聖	前川 裕貴
26	委員	一般社団法人福岡県バス協会会長	林田 浩一	同左
27	委員	一般社団法人福岡市タクシー協会会長	安川 哲史	〃
28	委員	九州旅客鉄道株式会社代表取締役社長 執行役員	青柳 俊彦	古宮 洋二
29	委員	福岡海上保安部長	末武 忠則	同左
30	委員	福岡県警察本部長	野村 護	岡部 正勝
31	委員	熊本市長	大西 一史	同左
32	委員	鹿児島市長	下鶴 隆央	〃
33	委員	公益財団法人福岡観光コンベンション ビューロー会長	谷川 浩道	〃
34	委員	一般財団法人福岡コンベンション センター理事長	小野田 勝則	〃
35	委員	株式会社テレビ朝日代表取締役社長	早河 洋	篠塚 浩
36	委員	株式会社電通取締役社長執行役員	樽谷 典洋	同左
37	委員	株式会社電通九州代表取締役社長 執行役員	鈴木 亨	〃
38	監事	福岡商工会議所監事	柴戸 隆成	〃
39	監事	公益財団法人日本水泳連盟監事	齋藤 由紀	〃
40	監事	福岡市会計管理者	中村 郁子	小川 明子

議案第 1 号

大会名称等の変更について

FINA（国際水泳連盟）の名称が World Aquatics（世界水泳連盟）に変更されたことに伴い、本大会の名称等を変更するもの。

1. 世界水泳選手権 2023 福岡大会について

【変更前】 第 19 回 FINA 世界水泳選手権 2022 福岡大会
(19th FINA World Championships 2022 Fukuoka)



【変更後】 世界水泳選手権 2023 福岡大会
(World Aquatics Championships Fukuoka 2023)



2. 世界マスターズ水泳選手権 2023 九州大会について

【変更前】 第 19 回 FINA 世界マスターズ水泳選手権 2022 九州大会
(19th FINA World Masters Championships 2022 Kyushu)



【変更後】 世界マスターズ水泳選手権 2023 九州大会
(World Aquatics Masters Championships Kyushu 2023)



組織委員会規約の改定について

第19回FINA世界水泳選手権2022福岡大会組織委員会規約 新旧対照表

現行	修正案
<p>第1章 総則 (名称) 第1条 本会は、<u>第19回FINA世界水泳選手権2022福岡大会組織委員会</u> (以下「組織委員会」という。)と称し、英語では The Organising Committee of the <u>19th FINA World Championships 2022 Fukuoka</u> とする。 (略) 第2章 目的及び事業 (目的) 第3条 組織委員会は、<u>2022年に開催される第19回FINA世界水泳選手権</u> 及び<u>第19回FINA世界マスターズ水泳選手権</u> (以下「大会」という。)の準備及び運営に関する事業を行い、もって大会の成功に期することを目的とする。 (略) 附 則 (施行期日) この規約は、2021年2月22日から施行する。</p>	<p>第1章 総則 (名称) 第1条 本会は、世界水泳選手権 <u>2023福岡大会組織委員会</u> (以下「組織委員会」という。)と称し、英語では The Organising Committee of the <u>World Aquatics Championships Fukuoka 2023</u> とする。 (略) 第2章 目的及び事業 (目的) 第3条 組織委員会は、<u>2023年に開催される世界水泳選手権及び世界マスターズ水泳選手権</u> (以下「大会」という。)の準備及び運営に関する事業を行い、もって大会の成功に期することを目的とする。 (略) 附 則 (施行期日) この規約は、2021年2月22日から施行する。 <u>附 則</u> <u>(施行期日)</u> <u>この規約は、2023年1月23日から施行する。</u></p>

大会予算等について

1 大会予算

大会予算は、再延期経費等で45億円程度が発生し、225億円程度となる見込み。
(再延期に伴う主な増加経費については次ページを参照)

○大会予算内訳（見込み）

- ・会場整備費 : 80億円程度
- ・運営費 : 50億円程度
- ・宿泊・輸送費等 : 50億円程度
- ・再延期経費等 : 45億円程度

※収入について

協賛・寄付・チケット収入等で35～40億円、公的助成で60～65億円程度を確保し、大会予算の半分程度が福岡市の市費負担となる見込み。

2 大会開催の効果（見込み）

- 来場者数 : 約40～50万人
- テレビ視聴 : 全世界で約40億人
- 事前キャンプ地 : 15自治体
- 経済波及効果 : 全国で約970億円

※世界中に「FUKUOKA」「KYUSHU」が大きくPRされ、都市ブランド力向上の面で大きな効果がある。

※各地で開催される事前キャンプにより、全国的に大きな経済波及効果が見込まれる。

※宿泊・輸送・飲食に係る消費など、コロナ下で大きな影響を受けた開催都市への直接的な経済効果も見込まれる。

再延期に伴う主な増加経費について

1. ウォームアッププール・ハイダイビング会場の施設保全等

大会再延期前に工事着手していた施設について、市民の事故防止の観点から安全対策等を施すことが必要であり、これに伴う対策費用や、各種資材のリース期間延長に伴う費用が発生。

2. 物価上昇

昨今の半導体不足、木材・燃油等の資材価格の高騰や、労務価格の上昇により施工費が増加。

3. 夏季開催への変更

大会開催時期が夏季となったことから、空調設備の増強やそれに伴う追加電気工事が発生。

4. その他

大会再延期前に手配していた工事のキャンセルに伴い手戻りの費用等が発生。

※参考 主な削減内容

- ・一部の大会関係者の輸送を貸切ハイヤーから乗合タクシーに切り替え
- ・マスターズ開閉会式の規模縮小
- ・プレスセンター・VIPラウンジの統合等
- ・公式練習期間の短縮（選手向けバスの輸送費やこれに伴うスタッフ費・警備費を削減）

主なスケジュール

- 令和4年5月 博多どんたく港まつり（世界水泳どんたく隊参加）
- 7月 世界水泳 FUKUOKA 開幕1年前トークイベント ～ROAD TO FUKUOKA～
- 9月 SNS プレゼントキャンペーン第1弾開始
- 10月 マスターズ大会 競技日程決定
- 11月 マスターズ大会 競泳参加標準記録決定
- 12月 マリンメッセ福岡 A・B館（競泳・水球・アーティスティックスイミング会場）工事再開
- 令和5年1月 第4回コロナ対策検討会議 開催
- 選手権大会 競技日程決定
- 2月 シーサイドももちエリア（オープンウォータースイミング・ハイダイビング会場）工事再開
- 選手権大会 選手登録開始
- チケット販売開始
- 3月 マスターズ大会 エントリー開始
- 第10回大会組織委員会会議 開催
- 5月 福岡県立総合プール（ダイビング会場）工事再開
- 博多どんたく港まつり（世界水泳どんたく隊参加）
- 6月 会場整備完了、大会運営テスト
- 7月 シティドレッシング本格実施
- 7月 14～30日 世界水泳選手権福岡大会
- 8月 2～11日 世界マスターズ水泳選手権九州大会

(公印省略)
世水組第39号
令和4年7月11日

第19回FINA世界水泳選手権2022福岡大会組織委員会
委員 各位

第19回FINA世界水泳選手権2022福岡大会組織委員会
会長 鈴木 大地

第19回FINA世界水泳選手権2022福岡大会組織委員会
2021年度事業報告及び収支決算の書面決議の結果について

時下、貴職におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

また、日頃より、世界水泳選手権及び世界マスターズ水泳選手権の開催準備にあたりましては、格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、令和4年6月15日付世水組第28号にて、書面により決議させていただきました2021年度事業報告及び収支決算につきましては、下記のとおり、委員の皆様の3分の2以上の承認をいただきましたことを報告させていただきます。

皆様にはご多忙にもかかわらずご審議いただきありがとうございます。

記

1 書面決議の結果

2021年度事業報告及び収支決算
について承認する。

(委員36名中、承認36、否認0、未回答0)

2 問い合わせ先

〒810-8620 福岡市中央区天神1丁目8-1

第19回FINA世界水泳選手権2022福岡大会組織委員会事務局(福岡市市民局世界水泳担当)

担当: 雪浦、山崎

電話: 092-711-4938/FAX: 092-733-5742/Email: fukuokaoc@city.fukuoka.lg.jp